



園庭の木々が少しずつ色づき始まり、秋の訪れを感じられます。過じしやすい気候のため、子ども達の動き・遊びも活発になっています。

先日、ブドウの製作を行ない、花紙を半分の大きさに切った物を手で小さくくしゃくしゃに丸めました。保育者の手本を見て上手に丸められる子もいれば、目新しい物に警戒して触ろうとせず、手を引、こめてしまったりと反応は様々です。製作が好きな子は、自分の分が終わってしまうと“またやりたい”と体で訴え、泣いてたり、両手を出して“ちょうだい。”とアピールする姿が可愛らしかったです。壁面として飾、てあるのでぜひ見てあげてください。

さて、戸外遊びでは「お外行こうね。」の言葉掛けに声を上げて喜んでいる子ども達。戸外に出ると自分の好きな遊具の所へ行き、セカチューや恐竜の小さいすべり台を楽しそうに何度もすべっています。また、スプーンを使って砂遊びをするのも上手になりました。ハイハイしている子もレジャーシートから人工芝の上へ移動し、アリを見つけて追いかける姿が見られたりと遊び方に変化が出てきています。“つまむ”という動作も出来るようになり、小石をつまもうと真剣な表情を見せたり、取れた時に見せる笑顔に自然と拍手をしてしまいます。

気温の変化に合わせて、体温調節をしたりと健康面に気をつけて過ごしていきたいと思います。

